

■編集後記■

本誌の特集企画者として、起居動作ということばの英文表現をいろいろ探してみたが、見付けることができなかった。

日本の和風生活、つまり畳の上での生活は我が国特有のものである。起居動作を表すことばとして、立居振舞があるが、これはまさしく畳をもつ生活様式の中で生まれたことばであろう。つまり畳文化の中で使われる起居動作は、欧米のいす中心の生活とは明らかに異なった意味をもつものである。

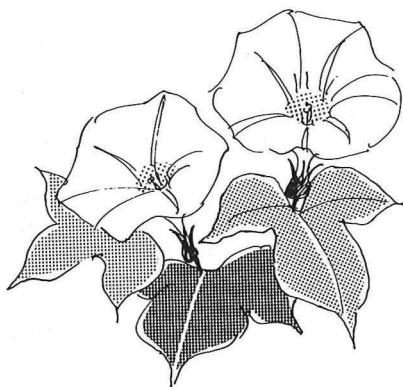
安藤氏も同様なことを起居動作総論の中で指摘している。

欧米の洋式生活とは異なる生活様式をもつ我が国では、リハビリテーションにおいて起居動作は我が国独得の課題として取り組むべき重要なものだと思う。

起居動作と福祉機器について廣瀬論文は、ベッドと起居のための福祉機器について、我が国の現状がおおむね紹介されており、福祉機器という道具を使うためのソフトについて強調している。

井口論文は、片麻痺について在宅生活における起居動作と介助者の労作を減少させるくふうについて述べている。

Parkinson 病患者について増本氏他は起居介助者の負担を軽くするのみでな



く、その家族全体の QOL を高めるための援助を多様化することを言っている。

リウマチ患者について川西氏他は、病気の性質上、患者の医学的状態の把握をしながら起居の指導を行なうことが必要だとし、画一には指導できないことがあるとしている。

入門講座と講座は、それぞれ「関節の運動学と運動療法」と「人間関係論」が新しくスタートした。ぜひ読者に役立つ内容になることを期待したい。

いよいよ本格的な暑さを迎える季節になって、読者諸氏もそれぞれに休養やリフレッシュにプランを立てられ、これからの酷暑を元気に乗り切っていただきたいと願うものです。

(松村 秩)

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長

横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター

上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部

鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院

奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学
学長

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短期大学

吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男

今 川 忠 男

宇都宮 初 夫

大喜多 潤

大 田 近 雄

大 峯 三 郎

金 子 誠 喜

菊 地 延 子

木 山 喬 博

工 藤 俊 輔

佐々木 伸 一

高 田 京 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

武 富 由 雄

寺 山 久美子

富 岡 詔 子

橋 元 隆

半 田 健 壽

藤 沢 しげ子

前 田 哲 男

牧 田 光 代

松 沢 博

丸 山 仁 司

宮 本 省 三

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第24巻 第7号)

1990年7月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,391円(本体1,350円)

(配送料61円)

年ぎめ予約購読料 15,960円
(本体15,495円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)817-5600

本誌編集室直通(03)817-5703

(担当：渡邊・細田)

販売部直通(03)817-5659・5660

広告室直通(03)817-5696

ファクシミリ(03)815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1990, Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。